

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月29日更新

事務事業名	地域住民グループ支援事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 米澤伸仁
計画	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進		所属課	高齢者支援課	担当者名 樋口良平
体系	施策の柱	47	高齢者の社会参加の促進		所属班	包括支援センター班	(内線) 2143
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	介護保険法
	介護	11	1	2	10443 他		成果優先度評価結果 : コスト削減優先度評価結果 :
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地域福祉の高揚と要援護者の早期発見、社会的孤立の解消や心身機能の維持向上に資する活動を行っている地域住民グループへの支援を行う。運営者会議の実施、レクリエーション、講習会、サロン通信の発刊など地域住民グループへの支援。サロンを開催している地区であれば自由に参加できる。社会福祉協議会が推進していた地域でのささえあい活動「生き生きサロン」が基盤となる。その後「介護予防・地域ささえあい事業」として国の補助事業となり平成12年度より開始した。団体数が年々増加している。サロンを運営しているボランティアの高齢化が課題である。
【業務の流れ】	事業は社会福祉協議会に委託。実績報告書の提出。委託料の支払い。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	毎月の開催が楽しみ、サロンが生きがいとの声があり、なじみの関係ができてきた。サロンへの参加がない閉じこもりがちな方を、地域でどうささえていこうかが課題。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
社会福祉協議会が各地区単位でレクリエーション、講習会等のサロン事業に対する委託料	社会福祉協議会が各地区単位でレクリエーション、講習会等のサロン事業に対し、委託を行なう。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア: 講習会開催回数	回 事業統合による減
イ: サロン数	箇所
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
サロンを実施している地区の高齢者。	(単位) 人
	ア: サロンを実施している地区の高齢者数
	イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
高齢者の社会的孤立感が解消される。	(単位) 人
	ア: 参加者の延べ人数
	イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
サロンに参加することにより孤立感の解消や心身機能の維持向上につながるため。年々サロンの参加者数が増加しているため。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 回		3	3	8	4				
	イ 箇所		38	37	40	40				
② 対象指標	ア 人		1,453	1,582	1,420	1,611				
	イ:									
③ 成果指標	ア 人		5,809	5,798	5,800	5,883				
	イ:									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円	1,754	1,842	3,944	1,971			
		都道府県支出金	千円	877	921	1,972	986			
		地方債	千円							
		その他	千円	3,509	3,683	7,884	3,943			
		繰入金	千円			1,972				
	(A) 事業費計	一般財源	千円	877	921		986			
		(A) 事業費計	千円	7,017	7,367	15,772	7,886			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		(B) 人件費計	千円	199	0	239	185			
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	4	1				
	延べ業務時間	時間	50	50	60	50				
	(B) 人件費計	千円	199	0	239	185				
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,216	7,367	16,011	8,071				

事務事業名	地域住民グループ支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	--------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 参加者は増加傾向にあるため。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 市全域で開催できるようにする必要がある。 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 各サロン単位で事業を行っているため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 住民の協力のもと行なっているため、必要最小限の事業費で行っている。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限で行なっているため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 サロン開催は住民の自由であり、開催の為の助成を受けることができるので、受益機会は均等である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 サロンに参加することで、地域の高齢者の孤立感の解消等に繋がっているため、行政が支援することは適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

参加している人からは、毎月の開催が楽しみ、サロンが生きがいとの声があり、なじみの関係ができてきた。サロンへの参加がない閉じこもりがちな方を地域でどうささえていくか、地域による差をどう埋めていくかが今後の課題。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						